

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道室蘭工業高等学校長 川 村 広 幸

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 学習者主体の学びを推進 (2) 保護者や地域の信頼の上に立った教育の推進 (3) 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境づくり

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・学校運営に対し、全教職員のさらなる共通理解を図る必要がある。 ・働き方改革への意識をさらに強める必要がある。 ・校内研修のさらなる充実を図る。 ・令和7年度からの間口減を見据えた校内体制の構築が必要である。	・全教職員のベクトルをあわせることは、全ての関係機関の課題であり、難問である。様々な考え方、意見が出ると思うが、取り組みの継続を期待する。 ・学校アンケートの分析結果を、学校関係者が共有して改善方法（対策）を考えることが大切だと思っております。 ・新たな情報や課題などに対する共通認識は高いものと考えられますが、忙しさもあるせいか認識と行動とに多少なりのギャップがあるように感じます。認識と行動が一体化するための行動研修のような考えも必要ではないでしょうか。 ・達成状況取り組みの適切さの評価や改善の方策について適切に評価されていると思う。
改善方策	・学校評価の活用の推進 ・管理職面談やアンケートを通して協働できる組織文化の醸成を進める。 ・職員評価制度の活用の推進 ・職員研修の活用の推進 ・校務内規の見直し	
関係機関との連携	・家庭との連携が日常的に行われている。 ・インターンシップを通じて、地域との連携が適切に行われている。 ・スクールカウンセラー及びパートナーティーチャーの活用が積極的に行われ、生徒の心理的な発達を支援する活動が行われている。 ・教育活動の発信を新聞等により十分行われている。 ・コロナが5類になり、P T A活動を再開することができた。 ・各関係機関と連携協定を締結することができた。	・P T A活動の基盤となる学校からの情報発信が出来ている点、生徒のメンタル面でのサポートに力を入れている点が良いと感じた。今後、ますますのDXにも取り組んでほしい。 ・西胆振3市の建設業と連携また日本工学院北海道専門学校との連携協定で関係が深まることが期待されているので先が明るく感じております。 ・学校運営同様に認識は高いが、教員間の連携・行動がスムーズに行える日々の体制が必要と考えられます。 ・コロナ禍で保護者や地域との連携が思うようにできなかったと思われるが、今後の活動に期待する。

改善方策	・ P T A活動の活性化 ・ 家庭・地域、関係機関との連携の質の改善	
学習指導	・ 学習活動が効率的かつ適正に行われるよう I C T環境のさらなる整備が必要である。 ・ I C Tを利活用した朝学習の定着が必要である。 ・ 学習習慣の定着、学習意欲・学力の向上の工夫が必要である。	・ 学習指導の改善への取り組みを引き続き継続してほしい。授業改善は難しい（授業を単純に分かりやすくすればよいという問題でもない）、個別指導はリソースが必要。若者が減少し、多様化する中で、工業など専門高校での学習機会は貴重であり、頑張してほしい。 ・ 学習者主体の授業をどう推進して進めるかですが、やはり生徒のやる気にかかっていると思います。入学1年目が大切な時期だと思いますので、3年間の学校生活の流れについてよく説明してあげることが大切だと思っております。 ・ 全体的には大きな課題は無いように見えますが、更なる生徒の意欲が向上するような生徒自らが取り組みやすい何らかのアイディアについて聞くことも必要ではないでしょうか。 ・ 社会人として最低限、社会に通用する実務の習得を目指してほしい。
改善方策	・ 教育課程の不断の改善 ・ I C T機器の活用とわかる授業に向けた授業改善 ・ 学習者主体の授業の推進 ・ 授業規律の共通認識を形成 ・ 測定ツールを用いた学力定着度合いの測定と補習等の学力ケアの充実	
生徒指導	・ 規律ある生活習慣の確立（身だしなみ、挨拶、時間を守る等）の定着へ向け、より主体的な取り組みとなるよう工夫する。 ・ 生活指導において保護者・関係諸機関との緊密な連携が必要である。 ・ 「学校いじめ防止基本方針」のもと、未然防止のための取組を継続する。	・ 高校生への生徒指導は社会全体で担うべき重要な問題ですが、どのように連携を深めるとよいのか、分かりませんが、貴校の取り組みは適切だと思います。 ・ 全教職員による一貫した指導も大切ですが、生徒会を通しての発信も必要だと思いますので、何かの会議のとき生徒の代表として出席してもらい意見を聴く場が有っても良いと思います。生徒会には、自治会の役割が有っていると思います。 ・ 全体的に強化したいと思われるBランクかな、大きくは社会人としての在り方としての教育であり、年齢的にも生徒自体の自覚をどう促すかであり、多くの事例を体験させることかな？（感謝の思いの助長かな） ・ いじめる人、いじめられる人の心のケアが大事だと思います。
改善方策	・ 全教職員による一貫した指導の推進 ・ 組織的・計画的な生徒指導の確立 ・ 生徒理解と教育相談の質の充実 ・ いじめ対応の組織的な取組 ・ 子ども理解支援ツールの有効活用 ・ 家庭・地域、関係機関との連携の質的強化	
進路指導	・ 進路意識の高揚を図る取り組みの推進が十分行われている。 ・ 望ましい職業観や勤労観を身に付けるような進路指導の充実が更に必要である。 ・ 進路選択の幅を広げ、就職先とのミスマッチによる離職を防ぐねらいから、求人	・ 引き続き、工業高校の強みを発揮して下さい。 ・ 女子生徒に対するきめ細かな進路指導、引き続きお願いします。 ・ 全体的には良い方向性にあると感じてありますので、良い事例・体験を継続

	票をデジタル化した。 ・生徒や保護者へ進路情報の提供が積極的に行われている。	していくことと感じます。 ・就職率の上昇は、職業学校としては職責を果たしていると感じる。企業と学校の更なる連携を強化してほしい。
改善方策	・3年間を見通した計画的進路指導の推進 ・インターンシップの質の充実 ・キャリア教育の質の向上 ・進路実現のための支援の本質を追求	
組織運営	・他者への貢献や知見を活用しながら、協働できる組織文化づくりが行われている。 ・地域を支える職業高校として、各関係機関と連携をすすめた。	・PDCAをまわして、良い取り組みをされていると思います。 ・多様化する現在、組織運営がむずかしい時期ではありますが、皆さんの協力で前に進むしか無いと思っています。 ・引き続き宜しくお願いします。 ・教員不足の中、先生方の業務には大変な労力が必要だと思う。
改善方策	・校内組織の情報共有化 ・互いに話しやすい環境、互いに協力し合う職場環境づくりの推進 ・働き方改革のより一層の推進 ・部活動指導等、業務の見直し ・実践的な校内研修の充実 ・校外研修の推進と研修成果の還元	
公表方法	本校ホームページ、PTA総会・役員会等で公表及び説明	